

# 門司区の主な取り組み

## 第1章 自然や歴史を活かし、人とモノが交流するにぎわいのあるまち

### ■門司港レトロ事業

SDGs ゴール番号 8

#### <令和5年度門司港レトロ主要事業について>

##### 1 門司港レトロ地区回遊性向上事業

門司港レトロ地区の滞在時間の延長を目的として、観光案内板の見直しなどの基礎的なインフラ整備や施設間の植栽化など観光スポットを繋ぎ、回遊性の向上に取り組みます。

##### 2 和布刈りブランディング事業

国立公園内の和布刈山頂における民間の力を活かしたグランピングや飲食店等の進出可能性調査などを行い、和布刈地区の観光コンテンツの充実を図ります。

##### 3 門司港レトロ・和布刈地区夜のにぎわい創出事業

門司港レトロ・和布刈地区の「滞在時間の延長」「回遊性の向上」に加え、地域のにぎわいを取り戻すため、夜間景観を活かした夜のにぎわいを創出します。

##### 4 門司港レトロ地区観光施設の指定管理

門司港レトロ地区における観光施設の運営を指定管理者に委託し、民間事業者の発想を取り入れた創意工夫によって、利用者へのサービスを向上させ、集客増加を図るとともに、施設管理を円滑かつ効率・効果的に進めます。

#### 【指定管理者】

##### ① 門司港レトロ観光9施設…門司港共創プロジェクトチーム共同事業体

関門海峡ミュージアム、旧大阪商船、旧門司三井倶楽部、門司港レトロ観光物産館、門司港レトロ展望室、門司港レトロ駐車場、大連友好記念館、旧門司税関、旧大連航路上屋

【指定期間】 令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

##### ② 九州鉄道記念館…九州鉄道記念館運営共同企業体

【指定期間】 令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）

担当：産業経済局門司港レトロ課 TEL 322-1188

### ■レトロの夜

SDGs ゴール番号 8

門司港レトロハーバーデッキを会場に平成9年度から開催しています。JAZZをはじめ様々なコンサートで門司港レトロの夏の夜に彩を添えます。

担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

産業経済局門司港レトロ課

TEL 322-1188

### ■門司港レトロイルミネーション音楽イベント

SDGs ゴール番号 8

門司港では冬のにぎわいづくりとして令和5年度は10月～3月までイルミネーションの点灯を行う予定です。12月には様々な関連イベントも開催されます。平成6年度から開催し、令和5年度は29回目を迎えます。

担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

産業経済局門司港レトロ課

TEL 322-1188

## ■各種イベント支援

SDGsゴール番号 8.17

まちづくり団体等が門司区でイベントや事業などを実施する際に、各種支援を行っています。

### <門司海峡フェスタ（旧「門司港レトロフェスタ」）>

門司港レトロ地区で行われるゴールデンウィーク期間の目玉イベントです。バンド演奏やよさこい踊りなどのステージイベント、ご当地グルメ屋台や門司ゆかりの源平合戦などの史実に合わせた甲冑武者行列、花火など、子どもから大人まで楽しめるさまざまな催し物が目白押しです。

※ 令和5年度は5月3日（水）、4日（木）に開催

### <門司みなと祭>

門司港が、国際港としての地位を確立したのを契機に、昭和9年に当時の門司商工会議所会頭の出光佐三氏の音頭により始まったお祭りです。令和5年度で78回目を迎えました。門司みなとアンバサダーをはじめ約1,100人が趣向を凝らし、街中を行進する祝賀パレードが見どころです。毎年、5月に開催しています。

※ 令和5年度は5月27日（土）、28日（日）に開催

区独自事業としてステージイベント（キャラクターショー）を実施

### <関門海峡花火大会>

関門海峡を挟んで、門司と下関両方で同日・同時間に打ち上げる花火大会です。海峡の夜を華やかに彩る大輪の花は、関門の夏の風物詩として広く知られています。

※ 令和5年度は8月13日（日）に開催予定



### <維新・海峡ウォーク>

高杉晋作没後120年を記念して昭和60年から下関の地元主催として始まり、東行庵をスタートしてシーモールまでの約30km、門司港駅までの約28kmのコースがあります。毎年約1万人もの参加者を集めています。（コロナ禍以前は、2万人規模）

※ 令和5年度は4月9日（日）に開催

### <関門よさこい大会>

「ロケーション日本一のよさこい大会」を合言葉に、関門海峡を挟んで門司港と下関市でよさこい踊りを披露します。約50チームが参加し、下関会場も合わせて4会場で盛大に華やかに開催されます。

※ 令和5年度は8月19日（土）に開催予定

担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

## ■大里赤煉瓦タウン活性化事業

SDGsゴール番号 8.10.11.14.15.17

門司駅北口周辺地域は、平成12年以降、土地区画整理事業として、商業アミューズメントや住宅、ウォーターフロントなどの施設整備が進められてきました。この地域のコミュニティの形成及び門司駅を挟んだ南北の地域の連携を促すため、門司赤煉瓦プレイス運営協議会と門司区役所が主体となって、「食」にこだわったイベント「大里赤煉瓦食市」を開催しています。

担当：門司区役所総務企画課企画係 TEL 331-2252

## ■門司の魅力発見事業

SDGs ゴール番号 17

門司区の美しい景観や由緒ある史跡、企業などの様々な魅力を発信する事業を実施します。

門司の名所を巡るバスツアーの開催や門司区に訪れた方に活用いただくためのパンフレットの作製をするなど、地域住民、地元企業、郷土史会などと協働で、門司地区のにぎわい創出に向けた取組みを行います。

### ◇過去の実施内容

- ・門司の魅力彩発見！バスツアーの開催  
(令和5年3月29日(水))
- ・「門司港まち歩きマップ」の作成 (令和4年度)
- ・「門司の源平合戦と平家伝説」パンフレットの作成 (令和3年度)



僧清虚の火焚き場を訪れた参加者

担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

## ■門司区マスコットキャラクター（じーも）活用事業

門司区のキャラクター「じーも」を活用して、にぎわいの創出・門司のPRを図ります。

子どもたちに親しんでもらえるようグッズを製作・配布するほか、区内外の民間事業者などを対象に「じーも」商標を活用した製品開発・サービス展開を促進します。

〈例〉

SDGs ゴール番号 11.17



じーもシール



じーもクッキー

担当：門司区役所総務企画課企画係 TEL 331-2252

## ■定住・移住促進事業

SDGs ゴール番号 3.8.11.17

定住・移住の促進を図るため、本市の魅力発信、移住相談対応の充実、本市に移住してもらうための受入れ体制の強化、「北九州市版生涯活躍のまち」の推進などの取組みを実施します。

担当：企画調整局企画課 TEL582-2174  
門司区役所総務企画課企画係 TEL331-2252

## ■住むなら北九州 定住・移住推進の取組み

SDGs ゴール番号 11

本市への定住・移住を推進するため、市外から移住する世帯等に対し、一定の要件を満たす街なかの住宅を取得又は賃借する費用の一部を補助します。令和5年度中に、子育て・転入応援メニューの募集枠や対象者の要件等を拡大し、支援の強化を図ります。

担当：建築都市局住宅計画課 TEL582-2592

## ■門司を美しくする会

SDGs ゴール番号 11.17

「門司を美しくする会」は、平成 17 年 1 月に門司区内で活動するまちづくりボランティア団体やボランティアサークルなどで発足しました。令和 4 年は 43 団体（門司港地区 25 団体、大里地区 18 団体）が参加しています。

毎月、門司港地区・大里地区それぞれで、当番団体がごみ拾いなどの清掃活動を行い、「まちもところも磨く」掃除によるまちづくり活動が広がっています。

令和 4 年は活動を延べ 25 回実施し、880 名の会員の方々が参加しました。



担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

## ■海の玄関口クリーンアップ活動

SDGs ゴール番号 11.17

お盆やお正月に帰省する方をはじめ、本市を訪れる方に気持ちよく来訪していただくため、地域・民間企業・行政が一体となって、本市の「海の玄関口」である新門司フェリー地区一帯で清掃活動を実施しています。

参加団体は、新門司地区の 3 つの自治会（松ヶ江北校区、松ヶ江南校区、伊川校区）、フェリー埠頭周辺事業者（フェリー 3 社、マリナクロス新門司立地企業など）、港湾空港局、環境局新門司環境センター、門司区役所で、毎年延べ 600 人を超える方々が参加しています。

【令和 4 年度実施状況】

実施日	参加人数	ごみ処理量
8 月 10 日（水）	375 人	510Kg
12 月 14 日（水）	295 人	430Kg



担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

## ■“クリーン北九州”まち美化キャンペーン

SDGs ゴール番号 11.12.14.15

例年、市民のまち美化意識向上を目的に 5 月 30 日（ごみゼロの日）から環境月間である 6 月末日まで各区に会場を設け、一般市民も気軽に参加可能な大規模清掃活動「まち美化（ごみゼロ）清掃」を行っています。

また、ボランティア団体に清掃を呼びかけ、自主的に清掃を行う「ボランティア団体清掃」も行っています。



担当：環境局業務課 TEL 582-2180

## ■市民いっせいまち美化の日

SDGs ゴール番号 11.12.14.15

平成 6 年 10 月にまち美化条例が施行され、ごみの散乱状況も改善されてきましたが、まち美化は人のモラルに関わる問題のため、継続的に P R 活動を行う必要があります。

そのため、毎年 10 月の第一日曜日を「市民いっせいまち美化の日」とし、この日を中心とした 9 月から 10 月の間、多くの市民が地域の道路、公園、河川等の清掃を自主的に行っています。

担当：環境局業務課 TEL 582-2180

### ■港のにぎわい推進事業

SDGs ゴール番号 11.14

市民に海や港に親しみを持ってもらえるよう、「みなと」をテーマにしたさまざまなイベントを実施します。

また、門司区西海岸エリア一帯の観光施設等が「みなとオアシス門司港」の構成施設として登録されていることを受け、「みなと」を核とした地域づくりを推進します。



担当：港湾空港局クルーズ・交流課 TEL321-5939

### ■クルーズ船誘致事業

SDGs ゴール番号 11

令和5年3月から海外クルーズが本格的に再開しました。引き続き日本船社及び外国船社に対して個別に営業を行い、積極的な誘致活動を行います。また、他港との連携事業による展示会や海外セミナーへの参加を通じて北九州港の情報発信に努めるとともに、乗客に対して心に残るおもてなし事業等を実施します。



担当：港湾空港局クルーズ・交流課 TEL321-5939

### ■門司港レトロ地区臨海部開発事業

SDGs ゴール番号 8

門司区西海岸一丁目にある分譲地の活用により、門司港レトロ地区のより一層の魅力向上や同地区が抱える来訪者の滞在の長時間化等を図るため、宿泊機能を有する集客施設の整備が民間事業者によって行われています。

担当：港湾空港局計画課 TEL 321-5967

### ■北九州市制60周年記念「新聞と写真で振り返る北九州市」巡回パネル展 SDGs ゴール番号 4.11

北九州市制60周年を記念し、昭和38年2月の北九州市の誕生から現在に至るまでの歩みを、年表とともに、新聞や写真、動画で振り返る巡回パネル展を開催しました。

※ 令和5年4月27日（木）～5月8日（月）に旧門司税関で開催

担当：企画調整局総務課 TEL 582-2440

## ■恒見朽網線道路整備事業

SDGs ゴール番号 11

門司区には太刀浦コンテナターミナルや新門司港、小倉南区・京築地域には空港跡地産業団地、臨空産業団地、北九州空港など周防灘沿岸部に物流拠点が集積し、物流を含む交通量が増加しています。このような状況から、当該地域の幹線道路である県道門司行橋線や国道10号の慢性的な渋滞を解消し、産業拠点間の物流機能を強化することを目的として整備を進めています。

- ・箇所 門司区新門司三丁目～小倉南区大字朽網
- ・延長 L = 7.9 km (4車線)
- ・事業年度 平成22年度～令和13年度 (予定)



担当：建設局道路建設課 TEL 582-2279

## ■公共施設マネジメント推進事業 (モデルプロジェクトの推進)

SDGs ゴール番号 8.9.11.12

- ・北九州市公共施設マネジメント実行計画について

本市では、昭和40年代後半から50年代にかけて集中的に整備された公共施設が、これから10数年後に一斉に更新の時期を迎えます。

また、近年の財政事情は「福祉・医療費」が年々増加し、施設整備にかかる「投資的経費」はピーク時から大幅に減少し、近年横ばい状態にあるなど、公共施設をとり巻く環境は、非常に厳しいものがあります。

一方、人口の減少や少子高齢化の進展の中で、都市の活力を維持・向上していくため、商業・医療・福祉などの都市機能を集約し、その周辺や公共交通沿線などへ住宅を誘導することにより、生活利便施設や住居がまとまって立地する「コンパクトなまちづくり」を進めていくこととしています。公共施設についても、こうした動きの中で、より使いやすく充実したものに更新を図っていきます。

本市の公共施設マネジメントは、市民の安全・安心を確保し、子どもや孫の世代が安心して暮らせる地域社会を築いていくため、真に必要な公共施設を安全に保有し続けることができる運営体制を確立していくことを目的とします。

そして、その取組みには、単に施設を減らすだけでなく、「選択と集中」の観点から、本市のにぎわいづくりや活性化にも留意しながら、現在及び将来のニーズ等を見据えて公共施設を再構築するという視点が重要です。

これらを踏まえ、今後の公共施設マネジメントを具体化していくための道標として、平成 28 年 2 月に「公共施設マネジメント実行計画」を策定しました。

この実行計画は、「施設分野別実行計画」にて、公共施設の集約に関する考え方や具体的な取組みの進め方などを示しています。また、「モデルプロジェクトにおける公共施設再配置計画」にて、門司港地域・大里地域における施設の再配置の考え方などを示しています。

今後は、この実行計画をもとに、公共施設の再配置やリノベーション、移転・廃止後の跡地利用、街なかのにぎわいづくり等を具体的に進め、「都市の再構築と活力あるまちづくり」を目指します。

#### 【門司港地域の再配置計画】

門司港地域に点在している老朽化した公共施設を門司港駅に隣接した交通利便性の高い場所に集約・複合化し、市民サービスの向上や効率化、地域の活性化を図ります。

#### 【大里地域の再配置計画】

旧門司競輪場の跡地に、公共施設を集約し、複合化・多機能化することで、市民サービスの効率化及び公共施設に係るコスト縮減を図るとともに、魅力的な公園や居住空間の創出を図ります。

なお、実行計画の詳しい内容は、市のホームページに掲載しております。

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ken-to/25801061.html>

担当：企画調整局都市マネジメント政策課	TEL582-2076
【門司港地域の再配置計画に関すること】	
建築都市局事業推進課	TEL582-2469

# 門司港地域複合公共施設整備事業【概要版】

## 【北九州市公共施設マネジメント実行計画 門司港地域モデルプロジェクト再配置計画】

### 1. 事業の目的・概要

老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減する。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、市民利用施設や図書館の公共施設を活かし、地域の活性化に寄与する。

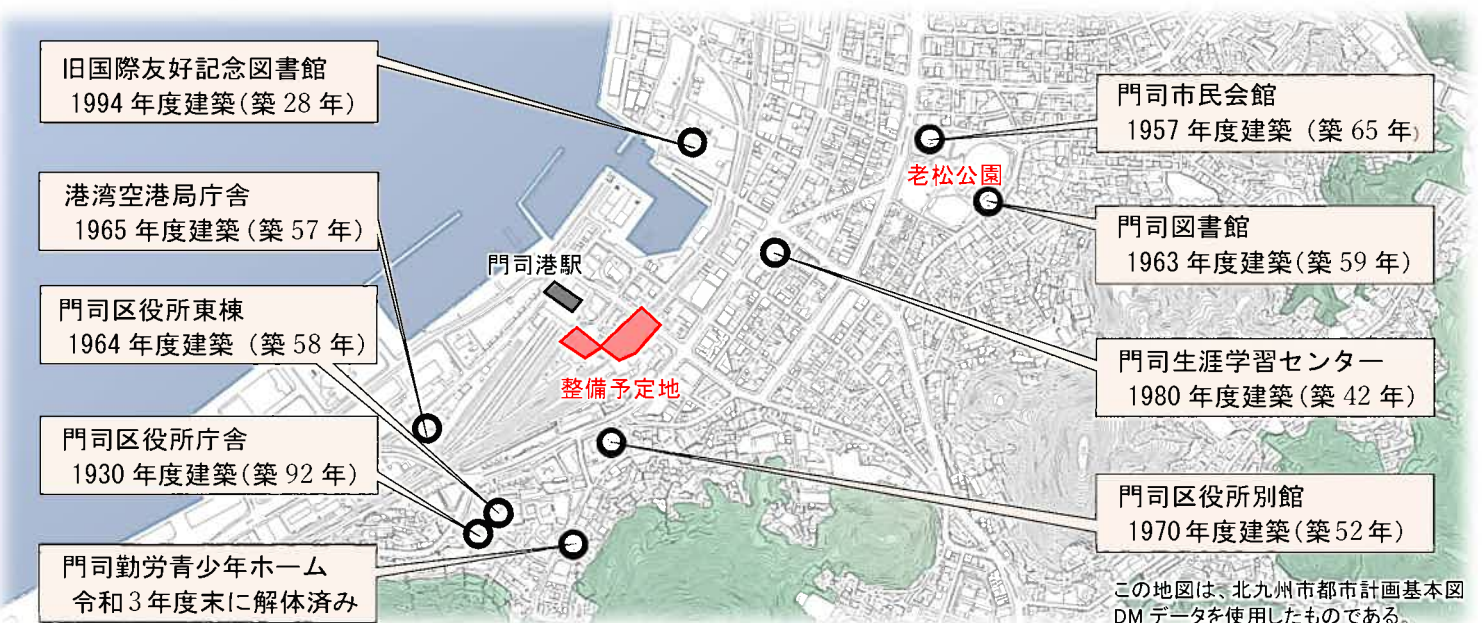
- ・交通利便性の高い門司港駅付近に公共施設を集約することで、区内各地からのアクセス利便性を高める。
- ・ホールや会議室、図書館等の文化施設を一体的に整備することで、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに、周辺地域の活性化や賑わいの創出を図る。
- ・移転跡地を地域に応じた利用に転換することで、地域の魅力を高める。

#### 【事業概要】

- 事業名 : 門司港地域複合公共施設整備事業
- 事業期間 : 平成 31 年度～
- 事業箇所 : 北九州市門司区清滝二丁目他
- 概算事業費 : 約 10,388 百万円

### 2. モデルプロジェクト再配置計画(門司港地域)

#### 【集約施設の位置】



この地図は、北九州市都市計画基本図 DM データを使用したものである。

#### 【公共施設集約化の対象施設と延床面積の変化】

現況施設		現状		計画	
市民 利用施設	門司市民会館	3,700 m <sup>2</sup>	8,500 m <sup>2</sup>	<u>3,550 m<sup>2</sup></u>	・多目的ホール ・座席数見直(800→500) ・会議室機能の見直し
	門司生涯学習センター	3,000 m <sup>2</sup>			
	門司勤労青少年ホーム	1,800 m <sup>2</sup>			
図書館	門司図書館	1,000 m <sup>2</sup>	1,800 m <sup>2</sup>	<u>1,600 m<sup>2</sup></u>	・2施設を1施設
	旧国際友好記念図書館*	800 m <sup>2</sup>			
庁舎	門司区役所	7,100 m <sup>2</sup>	10,600 m <sup>2</sup>	<u>8,700 m<sup>2</sup></u>	・会議室等の供用利用
	港湾空港局庁舎	3,500 m <sup>2</sup>			
計		20,900 m <sup>2</sup>		<u>13,850 m<sup>2</sup></u>	
その他施設 : 有料駐車場 (約 340 台)、利便施設 (50 m <sup>2</sup> )					

※旧国際友好記念図書館 (現大連友好記念館) は平成 30 年 3 月 31 日閉館



【対象施設の現状】

施設名・建築年度(延床面積)		現状・課題
市民利用施設	門司市民会館 ・1957年 (3,700㎡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>耐震基準を満たしていない</b></li> <li>○<b>建物が古く、設備の劣化が進んでいる</b></li> <li>○バリアフリー対応が十分でない</li> <li>○座席間のピッチが狭く、2階席の座席・階段の勾配が急</li> <li>○<b>稼働率が低い</b> (利用は主に土日のみ)</li> <li>○付属駐車場が狭い</li> </ul>
	門司生涯学習センター ・1980年 (3,000㎡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会議室や和室など<b>類似した役割を持つ部屋が複数ある</b></li> <li>○いずれの部屋も<b>稼働率が低い</b></li> <li>○付属駐車場が狭い</li> </ul>
	門司勤労青少年ホーム ・1975年 (1,800㎡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会議室や和室など<b>類似した役割を持つ部屋が複数ある</b></li> <li>○いずれの部屋も<b>稼働率が低い</b></li> <li>○平成31年度末廃止予定</li> </ul>
図書館	門司図書館 ・1963年 (1,000㎡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フロアーが<b>3階に分かれており使い難い</b></li> <li>○付属駐車場が狭い</li> </ul>
	旧国際友好記念図書館 ・1994年 (800㎡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光施設・交流拠点(大連友好記念館)として活用</li> <li>○図書館は平成29年度末閉館</li> </ul>
庁舎	門司区役所 ・1930年 (5,750㎡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所本館</li> <li>・(国)登録有形文化財(建造物)</li> </ul>
	門司区役所東棟 ・1964年 (500㎡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護課、消費生活センターが使用</li> </ul>
	門司区役所別館 ・1970年 (850㎡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健福祉業務の一部で使用</li> <li>・1階は錦町市民センター、2階は区役所別館、上層階は住宅(UR)の複合建築物</li> </ul>
	港湾空港局庁舎 ・1965年 (3,500㎡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>耐震基準を満たしていない</b></li> <li>○築後50年経過し、今後修繕コストが増大</li> </ul>
		<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>建物が古く、設備の劣化が進んでいる</b></li> <li>○バリアフリー対応が十分でない</li> <li>○市民の<b>待合スペースが不足</b></li> <li>○駅や市街地から離れておりアクセスが悪い</li> </ul>

3. 整備予定箇所



複合公共施設整備予定箇所



複合公共施設イメージ図



イメージパース

※イメージは参考。今後の検討により変更となる可能性があります。

## 4. 複合公共施設の整備基本方針と整備計画

【基本方針】

門司港レトロの玄関口に誇れる「みんなの施設」

**目標1** : 市民が誇りを持って利用し、育てていく施設づくり  
(機能、運営システム、連携のモデル)

- 施設や機能の複合化が、新たな文化的価値を生み出すきっかけとなり、市民活動の豊かさの向上に寄与していくこと
- 市民利用施設、図書館、行政機能が連携していく可能性を示していくこと

**目標2** : 市民も観光客も立ち寄りたくなる施設づくり  
(周辺環境、景観等のモデル)

- 市民の日常動線と観光客等の回遊動線が交差する場所に位置する立地特性に照らして、複合公共施設整備の効果を周辺に波及させ、新たな流れを誘導していくこと

**目標3** : これからの公共施設が備えるべき性能・設備を先取りした施設づくり  
(建物の性能、ライフサイクル等のモデル)

- 公共施設マネジメントのモデルプロジェクトとして環境、防災、ユニバーサルデザイン、維持管理コストなど複合公共施設が将来にわたって良好なレベルで使い続けることができるよう、先導的な取り組みを行っていくこと

【配慮事項】

<p style="text-align: center;"><b>魅力ある賑わいの創出</b></p> <p>◎生活における交流【日常】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域拠点の充実</li> <li>・商店街や周辺施設とのサービスを含めた連携</li> <li>・多様な世代が集い、出会い、交流する場の形成</li> <li>・交通結節機能の充実、強化による公共交通利便性の向上</li> </ul> <p>◎観光による集客【非日常】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光拠点の形成</li> <li>・門司港レトロとの連携</li> <li>・回遊動線の確保、向上</li> <li>・交流人口の増加</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>持続可能な施設の構築</b></p> <p>◎環境負荷低減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CASBEE 北九州</li> </ul> <p>◎景観、デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観重点整備地区に相応しい風格と落ち着きあるデザイン</li> <li>・夜景景観への配慮</li> <li>・周辺景観・施設との調和</li> </ul> <p>◎将来への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政負担の軽減</li> <li>・コンパクトシティの実現</li> <li>・将来需要の変化に対する柔軟性の確保</li> <li>・潜在需要への対応</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>基本的な性能の確保</b></p> <p>◎安全、安心、快適【平時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザイン</li> <li>・バリアフリー</li> <li>・無駄のない空間構成</li> <li>・使いやすい、利用者目線の施設</li> <li>・利便性が高く、機能的なサービスの提供</li> <li>・効率的な執務空間</li> </ul> <p>◎防災拠点【非常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本性能の確保</li> <li>・災害時における対応</li> <li>・事業継続</li> </ul>
---	---	--

## 6. スケジュール

年度	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
複合公共施設		基本設計 (検証含む)	(公共事業評価) (事前評価)	実施設計		建設工事			供用開始
跡活用					サウンディング調査等		方向性の決定		跡活用開始

※実施設計・建設工事には手続き期間等を含む

## 5. 各施設の整備基本方針及び整備内容

### 門司港地域複合公共施設(公共施設: 13, 850㎡、利便施設50㎡)

#### 市民利用施設(3, 550㎡)

##### 多目的ホール(2, 350㎡)

- ◇市民・団体の活動拠点として、地域拠点施設に位置づけ、施設規模に応じて地域の文化行事や個人の演奏会などに使用
- ◇ホールは、舞台設備等を備えた文化ホール仕様
- ◇座席を可動式の多目的ホールとすることで、会議、文化活動、スポーツ等にも活用

##### 【整備内容】

- ・座席数:500 席程度
- ・可動式座席を採用したアリーナ兼用
- ・楽屋は、小会議室(会議室、和室)を兼用
- ・災害時等における柔軟な利用・運用への対応

##### 会議室(1, 200㎡)

- ◇特定の目的に縛られず、幅広い多くの市民が活用する施設
- ◇大会議室と複数の小会議室を設置し、会議室には可動壁を採用する等、多様な活動への対応を図る
- ◇図書館での様々な活動など、複合化による多様な可能性を活かすことができる施設運営をはかる

##### 【整備内容】

- ・大会議室/100~300 人規模の講演会用(面積規模:300 ㎡)
- ・小会議室/50~80 ㎡程度の会議室を7室確保(会議室4室、和室1室、絵画室1室、音楽室1室、各室は多目的な利用に対応)
- ・別途、庁舎内に市民利用可能な調理室1室
- ・災害時における柔軟な利用、運用への対応

#### 図書館(1, 600㎡)

- ◇地区図書館として、区民を中心とした貸出・予約・読書案内・簡易なレファレンスなどのサービスや図書の充実を図る
- ◇国際交流に関する図書、地域特性に関連する図書、情報の充実を図る
- ◇静かに本を読む空間と、図書館の利用者が集える空間を確保

##### 【整備内容】

- ・わかりやすいサービスカウンターの設置
- ・読み聞かせコーナー、読書室、読書会などに柔軟に対応できるプラン
- ・適切な蔵書能力を持つ書庫の設置、一般蔵書、テーマ別蔵書、特集コーナーなどを効率的、柔軟に対応できる配架システム
- ・静かに読書できるスペースやリフレッシュコーナーの設置、通信環境(WiFi 等)の完備

#### 庁舎(8, 700㎡)

- ◇まちづくりの推進や地域コミュニティ活動への支援、保健福祉や子育てに関する相談、災害時の防災拠点など、住民に身近で多様な役割を果たす
- ◇来庁者の利便性に配慮し、窓口ワンストップサービスなど効率的、効果的な市民サービスの提供
- ◇港湾空港行政の役割を果たす
- ◇会議室を相互利用するなど、複合化のメリットを活かした運営を図る

##### 【整備内容】

- ・わかりやすい窓口案内を可能とするエントランス、待合スペースの確保
- ・区役所手続きのワンストップサービスの実施
- ・市民ニーズや区役所業務の変化に対応できる、柔軟性のある空間計画
- ・防災拠点としての強度・性能の確保
- ・庁舎内における積極的な機能の兼用化

#### 利便施設(50㎡)

- ◇施設利用者の利便性を向上、また、公共交通利用者や観光客などが気軽に立ち寄れる施設

#### 付属駐車場(約340台)

- ◇施設利用者や公用車のほか、観光客など地域の駐車需要や交通乗継にも対応できる立体駐車場として整備
- ◇駅前広場に隣接した敷地に立体駐車場として配置
- ◇門司港駅に隣接した位置にあるなどの立地状況を踏まえ、景観・デザインを重要な要素として検討

##### 【整備内容】

- ・駅前広場歩道横断の安全性確保に留意
- ・景観・デザインへの配慮
- ・庁舎までの動線に屋根を設置するなど良好なアクセス確保への配慮

## 1 公共施設マネジメント方針(抜粋)

## 1 公共施設の現状と課題

- ◆ 五市対等合併の経緯により、人口1人当りの公共施設保有量は、政令市の中で最大（政令市平均の約1.5倍）
- ◆ 昭和40～50年代に多くの公共施設を整備しており、近い将来、老朽化による大規模改修や更新が集中的に必要なとなるが、本市の財政では対応が困難  
⇒ 対策を何も講じなかった場合、老朽施設の利用制限が全市的に発生するため、**早急な公共施設マネジメントの取組みが必要（現在保有する全施設の維持は困難）**

## 2 公共施設マネジメント方針

- ◆ 取組みの視点
  - 総量抑制（保有量の縮減）
    - ・ 市民の利用状況に留意しながら、市全体の公共施設の保有量の縮減に取り組む。
  - 資産の有効活用
    - ・ 複合化や廃止等によって生じた余地は、民間への売却や賃貸を積極的に進める。
- ◆ 取組み目標  
『少なくとも、「今後40年間で保有量を約20%削減する」ことを目指す』

⇒ 公共施設マネジメントの**先導的な事例となるモデルプロジェクト再配置計画は、この方針を具体化する必要があります。**

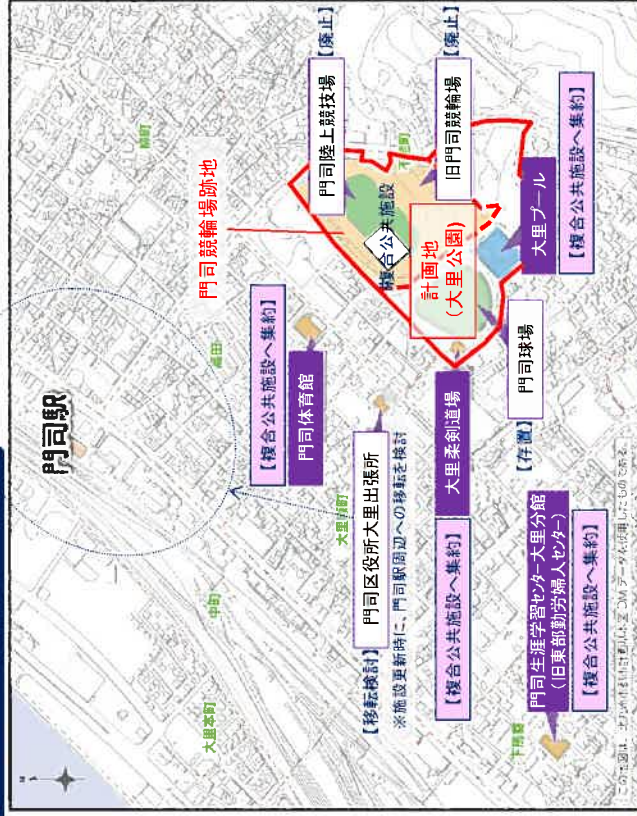
## 2 公共施設(大里地域)の現状と課題

- ◆ 廃止後10年以上が経過し、有効活用が図られていない旧門司競輪場について、跡地活用が望まれている。（活用可能な用地約4.8ha）
- ◆ 旧門司競輪場の周辺には、門司区役所大里出張所や門司生涯学習センター大里分館（旧東部勤労センター）、門司体育館などのスポーツ施設など公共施設が点在しており、これらの施設の更新時期は10年以上を先を見込んでいる。

## 3 再配置の考え方

- ◆ 旧門司競輪場の跡地に、公共施設を集約し、複合化・多機能化することで、市民サービスの効率化及び公共施設に係るコスト削減を図るとともに、魅力的な公園や居住空間を創出【旧門司競輪場跡地】
- ◆ 旧門司競輪場跡地を、「スポーツ施設ゾーン」、「公園広場ゾーン」、「居住ゾーン」と位置付け、「居住ゾーン」の整備は、民間事業を基本とする。
- ◆ 門司陸上競技場は、役割を他の陸上競技場（鞘ヶ谷・本城）に移して廃止【複合公共施設】
- ◆ 「複合公共施設」に、周辺スポーツ施設の機能を集約する複合公共施設を整備。集約することで、床面積の縮減・整備・維持・管理費用の削減を図る。
- ◆ 利用状況に対応した有料駐車場を整備。
- ◆ 公共施設を集約は、既存の周辺スポーツ施設の更新時期が到来した時点とし、それまでの間、スポーツ施設ゾーンは、暫定的に市民が利用できる広場として活用【その他】
- ◆ 門司区役所大里出張所は、建物の更新時に、より交通利便性の高い門司駅周辺への移転を検討

## 4 施設配置図



## 5 土地利用のゾーニング計画

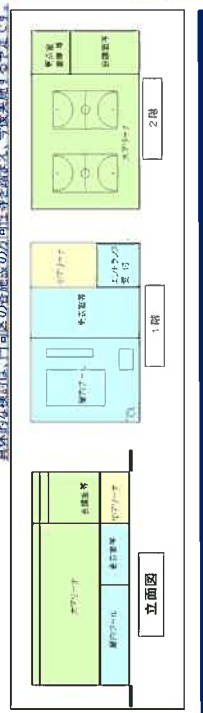


## 6 再配置計画

### 【公共施設集約化の対象施設と延床面積の変化】

施設種別	現状	再配置計画 (複合公共施設)	主な理由
市民利用施設			
門司体育館	5,800㎡	2,500㎡	・体育室は必要が広さ確保し一体化により縮減 ・柔剣道場は多目的利用により縮減
大里柔剣道場	1,200㎡	4,600㎡	・生涯学習センター大里分館(旧勤労婦人センター)の体育室などは、スポーツ施設との複合化
門司生涯学習センター(旧東勤労婦人センター)	2,000㎡		
大里プール	200㎡	2,500㎡	・屋内プールにするため増
計	5,900㎡	7,100㎡	

### 【複合公共施設のイメージ】※この図面のイメージです。具体内容は、門司区の各種施設の方向性や計画案、今後変更する予定です。



## 7 イメージパース



### 完成形

R10年度完成予定

## 整備イメージ (完成形)



※図面はイメージです。実際とは多少異なる場合があります。

#### 遊具広場

- ・斜面遊具広場 約1,500㎡
- ・遊具広場 約2,000㎡

公園の中心に各種遊具を配置して、高低差約7mを活かした遊具子どもたちが安心して遊べる公園。

#### 芝生広場

- ・芝生広場 約3,000㎡

各種イベントやピクニック、学校の遠足等、気軽にスポーツレジャー外周にバリエーション豊かな芝生広場(約300m)芝生広場(約600m)の予定。

#### 多目的広場

- ・多目的広場 約3,000㎡

様々なスポーツやイベント、地域の集いの場として活用される多目的広場を整備する。

#### 大里柔剣道場跡地

- ・大里柔剣道場跡地 約1,000㎡

面積約1,000㎡

#### 大里柔剣道場跡地

- ・大里柔剣道場跡地 約1,000㎡

面積約1,000㎡

#### 大里柔剣道場跡地

- ・大里柔剣道場跡地 約1,000㎡

面積約1,000㎡

## 8 再配置のスケジュール

施設	項目	R元年度 (R元~10年度)																	
		H28年度	H29年度	H30年度	前期	中期	後期	R元年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
既存施設	大里地域の二ノズ窓け入れ態勢の整備	2016	2017	2018															
競輪場跡地	競輪場の解体・撤去																		
公園広場ゾーン	公園の設計・整備																		
スポーツ施設ゾーン	広場として暫定利用																		
居住ゾーン	住宅の計画・整備																		

※複合公共施設の整備箇所